

< 国語 >

1 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

消費者がその価値に気づいていないものに商品としての価値があることを認識させるのは売り手の側の仕事である。この消費社会のロジックに従うならば、「教育商品」の価値を子供たちに気づかせるのは教師の仕事だということになる。

それゆえ、①消費者マインドの子供（とその親たち）は学校に向かって、「教育的コンテンツの商品としての有用性をすみやかに a カイジせよ」と要請するのである。TVの通販番組ではたしかにそうされている。子供たちは商品説明のない商品は買ってはいけないと教わる。だから、学びの場に立ったときも、まず教師に向かって、「子供にもわかる言葉で、子供にもわかる理屈で、勉強することの有用性を納得させてください」と要求する。私を納得させてくれれば、勉強してもよい。納得させてくれなければ、勉強しない。私が勉強するかしないか、それは教師の「教育力」によって決される。人々はそう主張した。

その主張にうっかりうなずいてしまった教師たちは「勉強するとこんないいことがあります」という利益誘導によって子供たちの意欲を喚起する道にはまりこでしまった。だが、6歳の子供に理解できる「いいもの」のリストは、それほど長いものにはならない。「他人をこき使うことができるほどの地位」、^{ぜいたく}「贅沢が許されるほどの財貨」、「他人を b 羨望させるほどの知識や技能」、せいぜいそれくらいである。「勉強すれば『そういうもの』が手に入るよ」と教師たちは子どもに ^{ききか}囁きかけた。

この代価はきわめて高いものについて。というのは、利益誘導で子供の学びを動機づけようと望むなら、教師自身が「6歳児の欲望」を内面化していなければならないからである。自分が欲望していないものを他人に欲望させることはできない。「越後屋、おぬしも悪じゃのう」と代官に言わせるために、越後屋はかなう限り下品な顔をして見せなければならないのと同じ理屈である。

だが、②教師と子供が同じ欲望の虜囚であるという事実を知って、教師の教えをこれからは注意深く学ぼうと決意する子供は少ない。それよりはむしろ、教師たち自身がいまだに「子供の欲望」に ^や灼かれているという事実から推して、教師というのはその欲望を満たすことができなかつた人間だと知的な子供たちは推論するのである。

「これであなとも成功できる」という類の本を手にとったとき、知的な読者は必ず「では、なぜあなたは成功していないのか？」という c ハンモンを著者に向ける。「株式投資で大もうけする方法」も「馬券的中100%のヒミツ」も、それを知っている人間はけっして他人には教えない。それは消費社会の常識である。利益誘導で子供たちを学びに誘う教師たちは、これと同じピットフォール（落とし穴、わな）に陥る。子供たちを利益誘導によって学びへと動機づけようとする教師のふるまいそのものが、「子供たちににじり寄って何か（見たところいかにも無価値な）商品売りつけようとしている人間が A を知っているはずがない」という推論を裏づけてしまうのである。

社会的上昇を果たすためには、世界のどこでも同じ「マジック・ワード」が存在する。それを口にしない限り、どのような種類のものであれ、キャリア・パスに続くドアは決して開かない。その「マジック・ワード」は「教えてください」である。

私たちは誰もが「ノーヴィス」(初心者、駆け出し、見習い、修行者)としてキャリアをスタートする。このときに、自分がコミットした「ゲーム」について、「私はそのルールをすでに知っている。そのゲームでどうすれば勝利できるかも知っている」という宣言をなしてからゲームに参加する人間はプロモーションのラインからほとんど即座に脱落する。キャリア・パスに続くドアは自力でこじ開けることができないからである。ノックして、「入れてください」と言うと、ドアの向こうから「マジック・ワードは？」という問いかけがある。答えは簡単。「知りません、教えてください」である。

③学校教育で子供たちが学ぶのは、ほとんどこの二語に尽くされる。「学び」とは知識や技術のような実定的なものを学ぶことではなく、学び方を学ぶことだからである。

学びから逃走する子供たちの精神は、この「マジック・ワード」を口にすることによって、自尊感情が損なわれるように構造化されている。彼らは「知りません。教えてください」と口にすることは「敗北」であると教えられてきたのである。親や教師がそう教えたのではない。消費社会のイデオロギーがそう教えたのである。

(内田樹『学びから逃走する子どもたち』)

(注)	ロジック…論理	コンテンツ…中身、内容
	プロモーション…参入への行動	イデオロギー…社会的な思想の体系

問1 二重線部 a~c のカタカナを漢字に、漢字をひらがなにそれぞれ直せ。

問2 傍線部①とあるが、次のうち「消費者マインド」に基づいた行動ではないものを、1つ選んで記号で答えよ。

- ア 生徒が、入試の合格実績を判断基準にして学習塾を選ぶ。
- イ 会社員が、資格手当を得るために英語を勉強する。
- ウ 保護者が、塾に1か月の教育成果を明示してほしいと願う。
- エ 子供が、言葉のおもしろさから英語をおぼえようとする。
- オ 受験生が、入試に必要な科目以外を不要とし勉強しない。

問3 傍線部②とあるが、なぜそのように言えるのか。適当なものを次から選んで記号で答えよ。

ア 子供たちは、勉強することの目的が他人に優越することにあると知って、努力することの意欲を失っているから。

イ 子供たちは、教師の言う、勉強することによる実利的なメリットの価値をまだ理解することができないから。

ウ 子供たちは、努力することに見返りが具体的すぎるために、提示された内容にうさん臭さを感じているから。

エ 子供たちは、自身の信念を曲げてまで、自分達に迎合しようとする教師の節操のなさにあきれているから。

オ 子供たちは、目標に向かって努力しても、必ずしもそれが報われるものではないことに感じているから。

問4 空欄Aにあてはまる表現として適当なものを次から選んで記号で答えよ。

ア 勉強することのすばらしさ

イ 自己利益を最大化する方法

ウ その商品が生み出す利益量

エ 教育の本来あるべき理想像

オ 子供たちの隠された要望

問5 傍線部③とあるが、筆者の考える、あるべき「学校教育での学び」とはどのようなものか。

45字以内で答えよ。

2 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

さびしさは鳴る。耳が痛くなるほど高く a スんだ鈴の音で鳴り響いて、胸を締めつけるから、その音がせめて周囲には聞こえないように、私はプリントを千切る。細長く、細長く。紙を裂く 耳障りな音は、A の音を消してくれる。気怠げに見せてくれたりもするしね。葉緑体？オオカナダモ？ハッ。っていうこのスタンス。あなたたちは微生物を見てはしゃいでいるみたいですけど（苦笑）、私はちょっと遠慮しておく、だってもう高校生だし。ま、あなたたちを横目で見ながらプリントでも千切ってますよ、気怠く。っていうこのスタンス。黒い実験用机の上にある 紙屑の山、私の B な時間が凝縮された山。

人数の関係で私と川を班に入れざるを得なくなった女子 3 人組は、まるで当然というふうに、余り物の 華奢な木製の椅子を私と川にあてがった。あてがったというよりも、スムーズに私たちの所まで流れてきた、という方が正しい。余り者には余り物がしっくりくるのだ。いじめじゃない、ごく自然なことなんだ。似合うから、しっくりくるから、しょうがないんだ。椅子は、背もたれや脚の部分は黒い塗装がところどころ 剥げ落ち、木の部分が見えてしまっていて、オレンジ色のクッション部分は虫に喰われており、他のみんなが使っているパイプ椅子に比べたら、椅子としては失格なほどアンティークだった。ちょっと動いただけで、椅子の 4 本の脚は ポテトチップスを噛み砕いている時のような、ぱりぱりした音を出してきしむ。だから首だけを静かに動かして、私は横で私と同じ種類の椅子を使っているもう一人の C を眺めた。

彼は、先生に見つからないように膝の上で雑誌を読んで時間を潰していた。いや、あれは読んでない、ポーズだけだ。だって暗い表情で、どこも見ていない虚ろな目で、ひたすら同じページに目を落としている。私たちはクラスメイトたちが楽しげに笑う度に、先生が班内で協力してスケッチをしましょうと言う度に、一つずつ年老いていく。そして雑誌を見たり、プリントを千切ったりして、なんとか暇な時間を塗り潰すことで、急激な老化を必死で食い止めているのだ。

しかし、この彼はどっかおかしい。何が間違っているのか分からない、けれどこの人をじっと眺めると、味噌汁の、砂が抜けきっていないあさを噛みしめて、じゃりっときた時と同じ、ものすごい D が一瞬通り過ぎていく。分からなくてもどかしい。どこかな、何が間違ってるのかな。ああそうだ、彼の雑誌が、おかしいんだ。片眉を上げてこちらを見据えている女モデルが大写しになっている表紙、「カジュアル夏小物で GO！」という見出し——女性ファッション誌じゃないか。洒落た OL が愛読してそうなやつを、読んでる。授業中に堂々と広げている。 負けたな。

(綿矢りさ『蹴りたい背中』)

問1 二重線部 a～c のカタカナを漢字に、漢字をひらがなにそれぞれ直せ。

問2 空欄 A・B に共通して入る適当な語を、次から選んで記号で答えよ。

ア 孤独 イ 静寂 ウ 悲痛 エ 退屈 オ 不潔

問3 傍線部①にはどのような思いが表されているか。最も適当なものを、次から選んで記号で答えよ。

ア それらが自分には意味がないという反抗。

イ 見たいのに見ることができない悔しさ。

ウ とっくに知っているという虚勢。

エ それらをおぼえることの面倒臭さ。

オ どういう生物か分からない^{いらだ}苛立ち。

問4 傍線部②が象徴的に表しているものは何か。最も適当なものを、次から選んで記号で答えよ。

ア 周囲の人々の私に対する敵意。

イ 潤いが失われた「私」のもろい内面。

ウ 周囲の人々の無理解に対する「私」の苛立ち。

エ 「私」とな川の間関係の危うさ。

オ 周囲から離れていく「私」の距離感。

問5 空欄 C に入る適当な語を、文中から抜き出せ。

問6 空欄 D に入る適当な語を、次から選んで記号で答えよ。

ア 嫌悪感 イ 不満感 ウ 違和感 エ 不快感 オ 絶望感

問7 傍線部③には「私」のどのような思いが表れているか。最も適当なものを選んで記号で答えよ。

ア 私は彼ほど冷淡にはなれない。

イ 私は彼ほど意地悪にはなれない。

ウ 私は彼ほど真剣にはなれない。

エ 私は彼ほど大胆にはなれない。

オ 私は彼ほど無関心にはなれない。

3 次の問題に答えよ。

問1 次の①・②の空欄を補うのに適切な語を書き、その意味をア～ウの中から選んで記号で答えよ。

① 立て板に 。

② 目くじらを 。

【意味】

ア 一部の役割を果たす。

イ 弁舌によどみのないさま。

ウ 他人の欠点を悪く言う。

問2 次の文章の傍線部分と最も近い意味で使われているものを選んで記号で答えよ。

① 眠気がさす

ア 布に針をさす

イ 目薬をさす

ウ 回答者をさす

エ 魔がさす

オ 花瓶に花をさす

② 観衆がわく

ア わくに縛られる

イ 地下水がわく

ウ ボウフラがわく

エ 湯がわく

オ 会場がわく

< 英語 >

1 次の英文の下線部(1)～(5)の単語を、正しい形に書き換えなさい。

Known as "The Cat Island," Tashiro-jima is a small island in Ishinomaki City, Miyagi Prefecture. There are two villages on the island: Nitoda and Odomari. Surrounded by the cobalt-blue sea, the island still (1)boast magnificent, untouched nature. The climate is mild and pleasant, and you can see many large Japanese black pine trees. The main industry of the island is fishing.

The Great East Japan Earthquake on March 11, 2011, caused major damage. However, thanks to extensive restoration work, electricity and water services (2)be restored in July, and the shipping route was (3)full resumed in January of the (4)follow year.

Since Tashiro-jima was first (5)introduce to the public through the media as "The Cat Island" 10 years ago, many people from around the world have come to see the cats. For more information, please visit our website.

出典：“The Cat Island, Tashiro-jima” [<https://miyaumi.info/blog/post100.html>] より加工。

注：boast 自慢する magnificent すばらしい pine tree 松の木 restoration 復旧

2 Tom と Cindy が二人で会話をしています。(6)～(10)の中に入れるのに適切な文を、次の㉠～㉤から選び、記号で答えなさい。文頭だとしても、I を除き、選択肢は全て小文字始まりにしてある。

Tom: I have gained some weight. (6)

Cindy: Maybe you should cut out junk food completely. How often do you eat hamburgers and fried potatoes?

Tom: Actually, (7)

Cindy: Oh, no! I can share some of my healthy recipes. (8)

Tom: Definitely! I am also planning to go for a walk every morning.

Cindy: Oh, really? (9) I haven't been getting enough exercise lately. (10)

- ㉠ I eat hamburgers three times a week.
- ㉡ that's a good place to start.
- ㉢ maybe I should join you.
- ㉣ do you want to see them?
- ㉤ I need to get back in shape.

3 次の日本文に合うように、英文の空欄に入る最も適切な語（句）を、それぞれの選択肢から選び、①～④の記号で書きなさい。

(11) もしやす子のアドバイスがなかったら、私は間違ってしまっただろう。

If it () for Yasuko's advice, I would have gone wrong.

- ① were not ② had not been ③ is not ④ had done

(12) 私の先生は、私にそのセミナーに参加するように促しました。

My teacher () me to join the seminar.

- ① concerned ② confused ③ encouraged ④ endangered

(13) 疲れていたのに、彼女は、結局行かないことにしました。

Because she was tired, she () decided not to go.

- ① favorably ② truly ③ eventually ④ occasionally

(14) 私の誕生日を祝って、姉は私にアイスクリームをおごってくれました。

To celebrate my birthday, my sister () me to ice cream.

- ① bought ② gave ③ divided ④ treated

(15) もしこの服が気に入らなければ、ほかのものを試してみてくださいよ。

If you don't like these clothes, you can try ().

- ① other ② some others ③ some another ④ one another

4 次の日本語に合うように、()内の語(句)を並べ替えたとき、()内で3番目にくる語(句)を、()の中から選んで、書き写しなさい。

(16) 私はまだ夢の実現に向かって努力しているところです。

I (still / working / am / towards) achieving my dreams.

(17) ホワイトさんはいつお帰りになるでしょうか。

What (expected / is / Mr. White / time) back?